LUCKY

2017.2

第47期　報告書

平成28年3月1日から平成29年2月28日

北雄ラッキー株式会社

JASDAQ:2747

株主の皆様へ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社
代表取締役社長 桐生（きりゅう） 宇優（ひろまさ）

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は創業以来、一貫して地域のお客様に愛されるお店づくりをめざし、皆様の食卓をよりおいしく、より豊かに、より健康にという理念のもと今日まで歩んでまいりました。これはひとえにお客様をはじめとして、株主の皆様、お取引先様の暖かいご支援があったからに他なりません。改めて深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、日銀のマイナス金利導入、英国のEU離脱問題、米国のトランプ氏大統領就任などの想定していなかった事象が次々と発生するなど、世の中の変化のスピードが一段と加速する一年でありました。

また、流通業界においても、「IoT」や「ビッグデータの活用」といったインターネットによる技術革新の大波が押し寄せてきており、インターネット通販の台頭に象徴されるように、消費者は、誰もが簡単に素早く、様々な媒体から商品や情報を手に入れる時代となっています。このようなマーケットの変化に対して、従来の小売り側の販売提供では対応が難しくなってきており、改めて「マーケティング」が最も重要な施策となるものと認識しております。

その施策の一つとして、当社は新たなポイントカード導入及び「ID-POSデータ」の活用により、個々のお客様ニーズにお応えする商品やサービスの提供、そしてデータに基づく効果的な販促活動や商品開発を目指してまいります。一方現場においては、店舗の全員がマーケティングの原理原則である、「お客様と直に接して、お客様のことを知り、お客様に対して訴えたい商品や情報を伝えること」が出来るような、現場力の強い店づくりに努めてまいります。

今年は、「マーケティング力」を加えた「商品力」及び「現場力」の強化を３本の矢に例え、結束力をより高めることで、北雄ラッキーのブランド価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

当社の企業理念である「日本一質の高いスーパーマーケットをめざそう」の実現には、お客様、お取引先様、従業員、皆様の幸せの実現が必須であり、そのために、私たち一人一人が商売人としての意識を持ち、強い力を身に着けて、生き残るのではなく勝ち残ることを命題として取組んでまいります。

これからも時代や社会の変化にいち早く対応し、お客様のニーズにも的確にお応えできる企業を目指し、役職者一同が最大限の努力をしてまいる所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

店舗網

（平成29年2月末現在）

営業店舗合計	33店
食料品・衣料品共同店	21店
食料品単独店	4店
衣料品単独店	8店

■札幌市近郊店舗分布（西野2号店は店舗建替のため一時閉店中）

●［食料品・衣料品共同店］
◆［食料品単独店］
■［衣料品単独店］

○本　部	〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁1番1号	☎011-558-7000
■デリカセンター	北海道小樽市銭函3丁目193-1	☎0134-62-1717
■シティデリカセンター	北海道網走郡美幌町字青山北53-3	☎0152-75-2060
■生鮮センター	札幌市中央区北12条西19丁目36-168	☎011-623-0570
■低温センター	札幌市中央区北12条西19丁目36-168	☎011-643-4511
■物流センター	北海道石狩市新港西3丁目700	☎0133-75-8877

昭和46年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。昭和49年5月、商号を株式会社山の手ストアーと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、昭和57年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、平成17年10月には道北の稚内市、平成20年9月には後志地方の岩内町、平成23年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、平成29年2月末現在、全道各地に33店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一歩先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けていきます。

「ナチュラルラッキー&テイスティラッキー」ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、有機野菜、特別栽培野菜、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族みんなが揃うお祝いの日やお誕生日などで、みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために
ナチュラルラッキー

グルテンフリー
スパゲティ
（小麦不使用）

新篠津産
特別栽培
玉ねぎ

長沼産山中ポーク

おいしいものをどんどん食卓に。
テイスティラッキー

マルマ三ヶ日
みかん

森彦の珈琲
スペシャルブレンド 金の雫

ホテルブレッド

「こどもPOPコンテスト」開催

当社設立30周年記念企画として開催し、今回で5回目となる「こどもPOPコンテスト」を実施いたしました。今年の応募作品も食材に対する素直で純粋な気持ちがとても良く伝わってくる力作揃いでありました。食材の持つ美味しさが際立ってくるような、こども目線で描かれた作品は、見ているだけで楽しくなります。当社といたしましては、この企画を最終的な目的である「社会貢献」、「地域貢献」につながるよう、取り組みの継続と積極的な広報活動に努めてまいります。

最優秀賞「厚切ロースカツ丼」

優秀賞「静岡産マルマ三ヶ日みかん」

最優秀チームワーク賞受賞!

チェッカー競技会の様子です。

平成28年7月21日(木)札幌パークホテルにて、道内スーパーマーケット7社のレジ担当者30名が接客技術を競う、第32回全道チェッカー競技会(北海道スーパーマーケット協会主催)が開催されました。

当社からは、5名が参加し、最優秀賞が3名、優良賞が1名と好成績を収めており、企業としても最優秀チームワーク賞を受賞いたしました。この受賞を糧として、日々のお客様への接客向上に活かしてまいります。

競技会も無事終了して、みんな笑顔の集合写真です。

ラッキーカードが新しくなりました

新しい「ラッキーCoGCa(コジカ)カード」です。

当社では、既存のポイントカードをリニューアルし、新たに電子マネー機能付きポイントカード「ラッキーCoGCa(コジカ)カード」への切り替えを、平成29年2月から順次開始しております。「お支払に小銭が不要で時間のかからない」電子マネーの導入で、お客様の利便性の向上とレジ待ち時間の短縮につながると期待しております。また、お客様への新たなサービス提供ができるように取組んでまいります。

新しいポイントカードへの切り替え受付に、店舗社員も本部社員も総動員体制です。

「シティマートめまんべつ店」の新規開店

当社では、平成28年4月15日に道東の網走郡大空町に「シティマートめまんべつ店」を新規出店いたしました。大空町は網走東部に位置し女満別空港を有する北網地区の交通の要衝となっており、平成18年に女満別町と東藻琴村の合併により誕生した、網走湖、芝桜公園、メルヘンの丘など四季の自然が豊かなまちです。主要産業は農業となり小麦、ジャガイモ、てん菜、豆類、日本最東端での米などの生産のほか、網走湖のシジミ、東藻琴の乳製品などの特産品が知られています。当店は、大空町女満別地区で長年営業されていましたAコープ女満別店様の跡を引き継ぎ、日常品、生活必需品、地場商品等の品揃えによる地域ニーズへの対応とローコストオペレーションをコンセプトに、地域に末永く愛される店舗づくりを目指してまいります。

開店直後のお客様の行列です。

お客様で混み合う店内の様子です。

シティあばしり店の改装

開店直後のお客様の行列です。

平成28年6月に道東オホーツク地区網走市の「シティあばしり店」の改装を行いました。今回の改装では、地元の青果、精肉、鮮魚などの新鮮で安心な素材の良さと惣菜、ベーカリーの出来立ての美味しさをより前面に打ち出すことにより、地域のお客様のニーズを徹底的に掘り起こすことを改装コンセプトといたしました。新たな売場として100円ショップも加わり、お客様にとっても楽しく便利で役に立つ商品を豊富に取り揃えております。当店は、選びやすく買いやすい売場づくりと心地良い接客を、常に心掛けることで、快適で楽しい買物体験と空間を提供するオホーツク地区最高のスーパーマーケットを目指してまいります。

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止（二酸化炭素の削減）をはじめとする環境問題に積極的に取組み、従業員一人ひとりが身近に出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

お客様と広げるリサイクル活動

当社では、平成28年10月20日（木）シティもんべつ店に、5店舗目となる「エコぽす」を開設いたしました。「エコぽす」とは、店舗駐車場内に設置してある古新聞、古雑誌、ダンボールなどの古紙回収ポストのことです。お客様が不用になった古紙などをポストに投入すると、1kgにつき1ポイントのエコポイントが専用ポイントカードに貯まり、500ポイントになると500円のお買物券と交換することができます。まさしく、エコで家計にもやさしい一石二鳥のお客様参加型環境活動です。

シティもんべつ店での「エコぽす」設置初日の様子です。

「エコぽす」の操作ポストです。

新たなリサイクル活動への取り組み

ゴミの分別を具体的に表示している「リサイクルシート」です。

当社では、従来より資源ゴミの分別収集に積極的に取り組んでまいりましたが、平成28年度は札幌市内5店舗において、ゴミ分別を更に細分化し、ビニールやプラスチックのゴミは発電所の燃料として回収し、ゴミのエネルギー化としてサーマルリサイクルに有効活用することといたしました。また、雑紙（ミックスペーパー）も、再生紙工場における再生紙の原料として回収し、トイレットペーパーへのマテリアルリサイクルに有効活用することといたしました。次年度は、この取り組みを更に多くの店舗へ拡大する計画です。

当期の概況

●営業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、政府及び日銀の各種政策を背景とした企業収益や雇用・所得環境の改善に伴い、緩やかな回復基調が続きましたが、新興国の景気減速、英国のEU離脱決定及び米国新政権の政策動向により、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場への影響が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

スーパーマーケット業界におきましては、流通業界の再編・淘汰の加速、異業種間競争の激化、成熟し縮小する市場変化への対応、人材確保対策及び個人消費回復の遅滞などの課題が山積し、企業の生き残りをかけた厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社におきましては、一貫して「おいしいものを食べたい、豊かな食生活を楽しみたい」というお客様の期待にお応えするべく、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」の構築に努めてまいりました。そして、当社のようなローカルスーパーマーケットがお客様の支持を得るための最重要事項は「商品」であるとの方針のもと、北海道№1の商品力の確立に努めてまいりました。

商品政策の面では、マーケティング理論に基づき、価値の創造と育成を目指して、多様化するお客様の購買志向を捉えて、お客様が求める商品、サービス及び情報を提供することにより、「商品力」の強化に努めてまいりました。具体的には健康・安心を提供するナチュラルラッキー商品、美味しさを提供するテイスティラッキー商品、時代を背景に即食・簡便商品、集客に重要なパワープライス商品などを柱とし、ラッキー100カテゴリー（強化カテゴリー）の構築により商品力強化を行い専門性を高めてまいりました。

販売政策の面では、現場主導の確立を目指し、店舗における店長を主役とする「現場力」の強化に取組み、本部が店長の決断を後押しすることによって、現場で考える力、現場で行動する力を育成し、お客様の様々なニーズに対する迅速かつ適切な対応の実現を図ってまいりました。

また、新たな顧客開拓の施策としては、チラシやCMなどの既存の広告媒体だけではなく、ホームページにおいて、SNSなどでの「情報拡散」を目的とした情報発信を新たな手段として、20代から30代の次世代ユーザー取込みを目指してまいりました。

経費面におきましては、水道光熱費等の増加が懸念されましたが、LED照明、省エネ機器の導入、デマンド監視装置の活用による使用電力の適正管理及び原油相場が安定していたことによる重油・灯油の燃料費削減効果などもあり、水道光熱費は前年を下回りました。また、ポイント引当金の計上による販売手数料の増加及び配送体系の見直しにより配送費が前年を上回りましたが、閉店した3店舗による経費減少の影響もあり、販売費及び一般管理費は前年を上回ったものの、計画数値に収まりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は430億80百万円（前事業年度比98.9%）、営業利益は3億57百万円（同109.8%）、経常利益は4億33百万円（同134.1%）、当期純利益は1億74百万円（同115.7%）となりました。

売上高の推移と予想（26年2月期～29年2月期実績と30年2月期予想）

営業利益の推移と予想（26年2月期～29年2月期実績と30年2月期予想）
経常利益の推移と予想（26年2月期～29年2月期実績と30年2月期予想）
売上高対経常利益率

●次期の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、政府・日銀の各種政策の効果もあり、輸出産業が主導となって景気の持ち直し傾向を徐々に強めており、鈍い動きの消費動向も消費マインドの回復や所得増が継続していることから、持ち直し本格化の可能性が高まるものと予想されます。

一方では、個人消費の改善が期待される中、小売業を取り巻く環境は業種の垣根を越えた競争が激しさを増し、少子高齢化による市場の縮小や最低時給の改定による人件費の上昇が続き、楽観できない厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況の中、当社がお客様の支持を得るための最重要事項は「商品」であるとの方針のもと、北海道№1の商品力の確立を目指してまいります。

商品政策の面では、現場におけるお客様のニーズを的確に汲取る「マーケティング力」を強化し、お客様が求める商品、サービス及び情報を提供することが、当社の「商品力」の強化に繋がるものとし、52週重点商品の拡大とナチュラルラッキー商品・テイスティラッキー商品を柱とするラッキー100カテゴリーの構築を重要施策としてまいります。

販売政策の面では、店長主導の運営体制の構築を目指し、店長は店舗オーナーとしての思考を持つことにより「現場力」の強化に取組んでまいります。そのうえで、本部が店長の決断を積極サポートし、現場での考える力・行動する力を育成し、お客様の様々なニーズに対する迅速かつ適切な対応の実現を図ってまいります。

また、ポイントカードの切替えによる電子マネー機能付き「ラッキーコジカカード」の導入と同時に、「ID-POSデータ」の本格活用が可能となり、お客様の購買情報の蓄積・分析により、商品開発、品揃え、販売促進及びレジ作業の改善に努めてまいります。

管理面では、翌事業年度の重点課題として「在庫の最適化」に全社を挙げて取組み、生産性や商品鮮度の向上を図り、企業収益の確保に繋げてまいります。

翌事業年度の投資計画としては、平成29年6月中旬に「ラッキー西野2号店」を建替えにより、「ラッキーマート西野店」として新装開店の予定をしており、主要な改装店舗では、同年4月に「ラッキー清田店」、同年5月に「シティびほろ店」の改装を予定しております。

当社はこうした数ある課題を着実に解決していくことにより、厳しい経営環境にあるなか、競争力のある企業、お客様から愛される企業の構築に向けて取組んでまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績予想につきましては、売上高425億円（当事業年度比98.7%）、営業利益4億59百万円（同128.5%）、経常利益4億60百万円（同106.0%）、当期純利益2億20百万円（同126.4%）を見込んでおります。

財務諸表

●貸借対照表

単位:千円

科目	前期 平成28年2月29日現在	当期 平成29年2月28日現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,732,466	4,666,144
現金及び預金	1,764,800	1,630,643
売掛金	371,203	482,137
商品及び製品	1,869,933	1,756,474
原材料及び貯蔵品	78,510	89,375
前払費用	117,870	109,085
繰延税金資産	55,104	67,792
未収入金	433,811	484,165
その他	41,966	47,204
貸倒引当金	△734	△734
固定資産	15,162,759	14,761,306
有形固定資産	12,200,214	11,931,700
建物	3,854,384	3,835,421
構築物	179,958	156,191
機械及び装置	312	249
車輌運搬具	291	145
工具、器具及び備品	113,128	92,242
土地	7,258,410	7,219,516
リース資産	793,728	627,771
建設仮勘定	ー	162
無形固定資産	39,658	47,310
ソフトウェア	21,429	29,081
電話加入権	18,228	18,228
投資その他の資産	2,922,886	2,782,295
投資有価証券	204,147	253,379
繰延税金資産	410,648	334,072
差入保証金	2,135,676	2,025,337
その他	172,413	169,505
繰延資産	13,784	12,362
社債発行費	13,784	12,362
資産合計	19,909,011	19,439,813

単位:千円

科目	前期 平成28年2月29日現在	当期 平成29年2月28日現在
〈負債の部〉		
流動負債	10,445,251	10,334,650
買掛金	2,958,801	2,605,631
1年内償還予定の社債	560,000	410,000
短期借入金	4,200,000	4,537,023
1年内返済予定の長期借入金	1,387,316	1,306,948
リース債務	300,924	278,666
未払金	336,944	419,885
未払費用	286,193	272,657
未払法人税等	112,174	95,727
未払消費税等	152,996	110,659
前受金	19,244	20,312
預り金	42,098	131,203
賞与引当金	88,558	110,519
ポイント引当金	ー	35,416
固定負債	4,936,569	4,422,665
社債	660,000	550,000
長期借入金	2,155,044	2,086,585
リース債務	561,687	429,409
退職給付引当金	915,965	893,059
役員退職慰労引当金	258,575	100,075
長期預り保証金	333,767	309,453
資産除去債務	47,314	48,024
その他	4,215	6,057
負債合計	15,381,820	14,757,315
〈純資産の部〉		
株主資本	4,502,156	4,612,434
資本金	641,808	641,808
資本剰余金	351,215	351,215
利益剰余金	3,510,195	3,621,006
自己株式	△1,062	△1,595
評価・換算差額等	25,034	70,063
その他有価証券評価差額金	25,034	70,063
純資産合計	4,527,190	4,682,497
負債純資産合計	19,909,011	19,439,813

●損益計算書

単位:千円

科目	前期 平成27年3月 1日～ 平成28年2月29日	当期 平成28年3月 1日～ 平成29年2月28日
売上高	43,560,907	43,080,676
売上原価	32,644,290	32,243,942
売上総利益	10,916,616	10,836,734
営業収入	1,053,316	1,171,669
営業総利益	11,969,932	12,008,403
販売費及び一般管理費	11,644,726	11,651,317
営業利益	325,206	357,086
営業外収益	102,357	164,954
営業外費用	103,972	88,199
経常利益	323,591	433,841
特別利益	2,533	294
特別損失	10,637	120,251
税引前当期純利益	315,487	313,884
法人税、住民税及び事業税	118,815	82,177
法人税等調整額	46,269	57,684
当期純利益	150,402	174,023

●剰余金処分

期末配当に関する事項

(1)配当財産の種類　金銭といたします。

(2)配当財産の割当に関する事項及びその総額

普通株式　1株につき金10円　　配当総額　63,202,650円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日　平成29年5月29日

(参考)

1. 当期における配当性向　36.3%

2. 1株当たり配当金の推移(期末時)

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
10.0円	10.0円	10.0円	10.0円	10.0円

●キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期 平成28年3月1日～平成29年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	514,123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440,516
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△134,157
現金及び現金同等物の期首残高	534,800
現金及び現金同等物の期末残高	400,643

●株主資本等変動計算書

当期(自　平成28年3月1日　至　平成29年2月28日)

単位:千円

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計			その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金						
平成28年3月1日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,045,195	3,510,195	△1,062	4,502,156	25,034	25,034	4,527,190
当期変動額												
剰余金の配当						△63,212	△63,212		△63,212			△63,212
当期純利益						174,023	174,023		174,023			174,023
自己株式の取得								△532	△532			△532
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										45,028	45,028	45,028
当期変動額合計	—	—	—	—	—	110,811	110,811	△532	110,278	45,028	45,028	155,307
平成29年2月28日残高	641,808	161,000	190,215	351,215	2,465,000	1,156,006	3,621,006	△1,595	4,612,434	70,063	70,063	4,682,497

売上・設備の状況

●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

当事業年度の売上高は、前事業年度と比較し1.1%減の430億80百万円となりました。これは、新装開店3年目の「ラッキー倶知安店」を筆頭に新規店舗及び改装店舗は順調に業績推移したものの、閉店した3店舗の売上高減少及び閏年による1日減の影響を受けたこともあり、売上高は前事業年度を下回りました。また、既存店売上高も前年同期比99.9%でありました。部門別としては、新商品開発の効果が現れた惣菜や日照不足の影響で相場高が続いた野菜などが好調であった生鮮部門は前年同期比100.3%と堅調でありましたが、健康意識の高まりから酒やたばこなどの嗜好品が苦戦したグロサリー部門は前年同期比98.4%と不振でありました。

商品別売上高

単位：百万円

	27年2月期	28年2月期		29年2月期		30年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	42,660	43,560	102.1	43,080	98.9	42,500	98.7
生鮮食料品	16,710	17,619	105.4	17,681	100.3	17,524	99.1
一般食料品	19,104	19,400	101.5	19,069	98.3	18,836	98.8
衣料品	4,548	4,259	93.6	4,104	96.4	3,967	96.6
住居品	1,663	1,668	100.3	1,639	98.3	1,605	97.9
テナント売上	633	613	96.8	585	95.5	568	97.0
その他の事業部門	8	—	—	—	—	—	—
合　計	42,669	43,560	102.1	43,080	98.9	42,500	98.7

29年2月期 売上構成比

●設備投資等の概要

当事業年度におきましては、平成28年4月15日に「シティマートめまんべつ店」を新規開店しており、既存店舗の改装としては、同年6月に「シティあばしり店」の改装を実施しております。閉鎖店舗としては、平成28年3月18日付で「ラッキー西野1号店」、同年5月17日付で「ラッキー美しが丘店」、同年6月15日付で「ラッキー衣料館長都店」を閉店いたしました。なお、「ラッキー西野2号店」が平成29年2月4日より店舗建替工事のため、一時閉店しております（同年6月中旬新装開店の予定）。

設備投資の推移

単位：百万円

	27年2月期	28年2月期		29年2月期		30年2月期(予想)	
			前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
投資金額合計	1,501	782	52.1	513	65.6	525	102.3
新店投資	416	494	118.6	25	5.2	315	1,223.4
既存店改装投資	754	65	8.6	70	107.7	57	82.1
その他	330	223	67.6	417	186.8	151	36.4
減価償却費	300	349	116.1	342	98.0	332	97.2
リース償却費	284	288	101.3	291	101.1	270	92.7

注　本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

●店舗の状況

(1) 開店・閉店店舗数と期末平均売場面積

	24年2月期	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期	29年2月期
開店						
店舗数	1	1	0	2	2	1
平均売場面積(㎡)	711	716	0	2,942	1,865	457
閉店						
店舗数	0	1	0	1	1	4
平均売場面積(㎡)	0	1,190	0	1,758	715	3,826
全店						
店舗数	34	34	34	35	36	33
期末売場面積(㎡)	59,995	59,224	58,340	59,521	60,617	57,133
期中平均売場面積(㎡)	59,420	59,529	58,474	60,240	60,337	58,368

(2) タイプ別店舗数と期末売場面積

	24年2月期	25年2月期	26年2月期	27年2月期	28年2月期	29年2月期
衣料品単独店						
店舗数	8	9	9	10	9	8
期末売場面積(㎡)	5,817	6,534	6,534	7,028	6,313	5,404
食料品単独店						
店舗数	4	4	4	4	5	4
期末売場面積(㎡)	4,076	4,077	4,077	4,189	5,115	4,507
食品・衣料共同店						
店舗数	21	21	21	21	22	21
期末売場面積(㎡)	48,912	48,613	47,728	48,304	49,189	47,222
その他事業(FC店)						
店舗数	1	—	—	—	—	—
期末売場面積(㎡)	1,190	—	—	—	—	—

会社概要

設立	1982(昭和57)年5月10日
本社	〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号
資本金	6億4180万円
代表者	代表取締役社長　桐生　宇優
従業員数	正社員　487名 パートタイマー　1,468名 (1人8時間換算　月平均) 平成29年2月末日現在
営業品目	生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・ 日用雑貨・米・酒

役員	代表取締役会長	川端　敏
	代表取締役社長	桐生　宇優
	取締役　専務執行役員	山本　光治　(営業本部長)
	取締役　常務執行役員	山川　浩文　(管理本部長)
	取締役　執行役員	堀田　史朗　(業務推進室長)
	取締役　執行役員	鴇澤　賢治　(経理部長)
	取締役　執行役員	大橋　洋　(開発部長)
	取締役	吉田　周史　(社外取締役)
	常勤監査役	田井中　廣治
	監査役	堀　勝彦
	監査役	宮脇　憲二　(社外監査役)
	監査役	伊藤　光男　(社外監査役)
	執行役員	猿渡　浩一　(総務部長)
	執行役員	中瀬　美夫　(生鮮部長)
	執行役員	斎藤　礼二　(遠軽店長)

沿革

昭和46年04月	食品の小売及び卸売を目的として、札幌市手稲西野(現　西区西野)に資本金6,000千円にて、株式会社オレンジチェーンを設立。
48年04月	本社を札幌市西区山の手1条7丁目に移転。
49年05月	商号を株式会社山の手ストアーに変更し、本格的にスーパーマーケットのチェーン展開を開始。 同月、山の手店をはじめ、5店舗の営業を開始。
50年10月	札幌市東区に北49条店を開店。
51年10月	札幌市豊平区(現 清田区)に清田店を開店。
52年12月	札幌市北区に篠路店を開店。同時にEOS(補充発注システム)を導入。
57年05月	株式会社まるせんとの合併と同時に、北雄ラッキー株式会社に商号変更。同時に、本社を札幌市中央区大通西23丁目291-1に移転。
59年06月	本社を札幌市中央区宮の森3条1丁目1-25に移転。
63年07月	小樽市新光町にラッキー朝里店を開店。小樽へ進出。
平成元年07月	本社を札幌市中央区北11条西19丁目36-35に移転。 同月、札幌市南区に川沿店を開店。
2年03月	POS(販売時点情報管理)システムを導入。
3年10月	石狩町(現 石狩市)花川にラッキー花川南店を開店。
5年09月	株式会社シティびほろと合併し、シティびほろ店を開店。道東地区へ進出。
6年03月	千歳市錦町にラッキー千歳錦町店を開店。千歳市へ進出。
6年04月	紋別郡遠軽町にシティえんがる店を開店。道東地区2店舗となる。
7年05月	札幌市豊平区(現 清田区)にラッキー美しが丘店を開店。
8年03月	本格的にインストアベーカリーを手がけ、以後各店へ導入。
10年03月	夕張郡栗山町にラッキー栗山店を開店。
12年03月	網走市駒場にシティあばしり店を開店。道東地区3店舗となる。同月、食品の安全性検査のため独自の商品検査室を設置。
13年03月	札幌市北区にラッキー新琴似四番通店を開店。
14年03月	中川郡幕別町に衣料館札内店を開店。 同月、安全衛生管理室を設置。
14年04月	札幌市手稲区にラッキー星置駅前店を開店。
14年10月	日本証券業協会に株式を店頭登録。(現在は東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場)
15年04月	夕張郡長沼町にラッキー長沼店を開店。
16年05月	精肉・鮮魚商品を店舗へ供給する生鮮センターを稼動。
16年06月	紋別市渚滑にシティもんべつ店を開店。 道東地区4店舗となる。
17年10月	稚内市新光町にシティ稚内店を開店。道北地区へ進出。
18年03月	札幌市中央区に低温物流センターを取得。
19年07月	小樽市手宮に衣料館手宮店を開店。
20年09月	岩内郡岩内町にラッキー岩内店を開店。
23年11月	函館市人見町に衣料館ひとみ店を開店。
24年09月	函館市美原に衣料館美原店を開店。
25年06月	本社を札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号に移転。 (ラッキー星置駅前店に併設)
26年03月	虻田郡倶知安町にラッキー倶知安店を開店。
26年10月	函館市桔梗に衣料館桔梗店を開店。
27年07月	常呂郡訓子府町に「シティマートくんねっぷ店」を開店。
27年07月	岩見沢市幌向に「ラッキーマート幌向店」を開店。
28年04月	網走郡大空町に「シティマートめまんべつ店」を開店。

株式の状況（平成29年2月28日現在）東証JASDAQ(スタンダード):2747

発行済株式の総数	6,323,201株
期末株主総数	1,097名（前期比96名増）

●所有者別株主数

●当社株価・売買高の推移
（2016.3～2017.2）

●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
桐生泰夫	682,400	10.79
千葉敬一	350,000	5.53
株式会社 北洋銀行	310,000	4.90
田中寛密	300,000	4.74
堀　勝彦	240,000	3.79
有限会社 まるせん商事	179,000	2.83
桐生宇優	172,500	2.72
株式会社 北海道銀行	150,000	2.37
桐生美智子	143,000	2.26
千葉サカヱ	138,000	2.18

（注）出資比率は自己株式（2,936株）を控除して計算しております。

株主メモ

決算期日	2月末日
株主総会	毎年5月
基準日	2月末日 そのほか臨時に必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	剰余金の配当2月末日 中間配当を行う場合は8月31日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。
株主優待制度	株主優待制度として、毎年2月末日現在の1,000株以上を保有する株主に対し、年1回JCBギフトカード(5,000円分)もしくは「北海道特産品」を贈呈いたします。

LUCKY

2017.2
第47期 報告書

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） でもお取扱いたします。
		みずほ信託銀行 本店および全国各支店（※） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご　注　意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しのみに全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。